

新発田市における 小児のアレルギー性疾患保有状況

出典	新潟県立新発田病院医誌 5 巻 1 号 Page6-9 (1999. 11) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2000122395)
著者	田口哲夫 他
調査地域	新潟県新発田市
調査時期	1992 年
調査対象	幼稚園 (4~5 歳) 小学生 (6~12 歳) 中学生 (12~15 歳)
依頼数	9684 人 (幼稚園 : 403 人、小学校 : 5961 人、中学校 : 3320 人)
有効回答数	9221 人 (幼稚園 : 380 人、小学校 : 5780 人、中学校 : 3054 人)
有効回答率	95% (幼稚園 : 94%、小学校 : 97%、中学校 : 92%)
診断方法	自己申告 (医師診断)
有症率	幼稚園児 : 0.8% 小学生 : 1.1% 中学生 : 1.1%
年齢・学年別有症率	4 歳児 : 0.6% 5 歳児 : 1.0% 小学 1 年 : 1.2% 中学 1 年 : 0.7% 小学 2 年 : 0.9% 中学 2 年 : 1.4% 小学 3 年 : 1.8% 中学 3 年 : 1.3% 小学 4 年 : 1.2% 小学 5 年 : 0.9% 小学 6 年 : 0.8%
調査概要	新発田市における幼稚園から小学生の小児におけるアレルギー性疾患保有状況を調査した論文。何らかのアレルギー疾患を有する率は約 4 割で、年齢が低いほど高かった。食物アレルギーの抗原は半数が鶏卵であった。